

未来のために私たちができること

環境CSRから進める経営改善

グリーン・エコプロジェクト



経営改善につながるグリーン・エコプロジェクト（GEP）

東京都トラック協会は2006年に全国に先駆け、地球温暖化防止に向けた独自のCO₂等削減対策を盛り込んだ『グリーン・エコプロジェクト』を立ち上げました。

『グリーン・エコプロジェクト』の活動では、車両ごとに収集した燃費からデータベースを構築し、継続的なエコドライブ活動の推進・支援を行い、CO₂排出量の削減や燃費向上に伴うコスト削減、事故防止等に向けた取り組みを展開しています。

『グリーン・エコプロジェクト』では、経営者・管理者・ドライバーの従業員一人一人が環境意識を高め、社会貢献・社会責任を主軸とした“環境CSR（環境から進める経営改善）”を目指しています。

また、レベルアップを図る研修セミナーを開催し、ドライバーのモチベーションアップのための教育資料や環境関連資料を提供するなど、環境問題へ能動的に取り組めるよう支援しています。

グリーン・エコプロジェクト
ホームページ



<http://www.tta-gep.jp>

一般社団法人 東京都トラック協会
グリーン・エコプロジェクト事務局

〒160-0004 東京都新宿区四谷3丁目1番8号
TEL.03-3359-6670 FAX.03-3359-6674

環境CSRから進める経営改善

グリーン・エコプロジェクト

Green eco project



CO₂ 排出抑制

一般社団法人 東京都トラック協会
TOKYO TRUCKING ASSOCIATION





環境CSRから進める経営改善

グリーン・エコプロジェクト

～未来のために私たちができること～

paper-and-pencil project

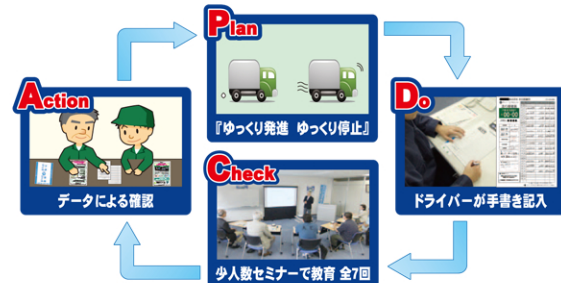
《すべては1枚の紙と鉛筆から》

『グリーン・エコプロジェクト』は、「走行管理表」という1枚の紙に毎回の給油量と走行距離を手書きで記入していくことから始まります。

車両ごとのデータ（車検証内容等）をもとに、「走行管理表」から燃費データを収集・構築し、データベース化^(※)を行い、これがCO₂排出量などの基礎データとなります。

ドライバーが自分の燃費を把握できる「走行管理表」は、ドライバー同士のコミュニケーションツールとなって、社内環境の改善にもつながります。

燃費を意識した運転はエコドライブだけではなく、事故低減にもつながり、さらに正確なデータを得ることができるため、経営改善に向けた武器となります。



※1 燃費データ分析システム（特許 3314870号）を運用

いたってシンプル

- ①ドライバーが給油時に「給油量」「走行距離」を走行管理表に手書きで記入
- ②記入された走行管理表を『グリーン・エコプロジェクト』事務局あてに送付
- ③事務局が燃費データを集計・分析し、燃費データベースを作成
- ④データベース化した車両ごとの燃費集計データを毎月グラフ化し、フィードバック
- ⑤フィードバックした最新の燃費集計データをもとに、ドライバー教育に活用

継続的なエコドライブ活動を推進し、CO₂排出量の削減及び燃費向上、事故防止等に取り組む「グリーン・エコプロジェクト」。

ゆとりある熟練したエコドライブが、交通事故の低減にもつながっています。

ゆっくり発進 ゆっくり停止

グリーン・エコプロジェクト参加後、交通事故件数は約30%削減、損害金額は参加車両でみると、約52%も削減し、交通事故ゼロを目指します。

プロジェクト活動ツールの提供！

経営者・管理者・ドライバーによる推進体制の整備

社内体制の環境整備もプロジェクト活動を能動的に取り組むための手段になります。



継続的サポート！

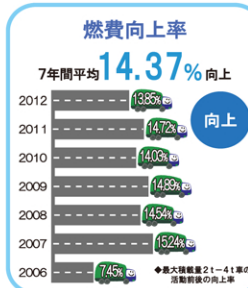
実践的なセミナーを通じて、継続的にサポートします。

『グリーン・エコプロジェクト』では、全7回の管理者を対象とする研修セミナーを毎月開催します。セミナーは、燃費集計データをもとに「エコドライブ活動の進め方」、「ドライバーの教育方法」、「事故防止とDRの活用」、「社内ミーティングで活用できる教材の提供」など、ドライバー教育にも役立つ具体的かつ実践的な内容で実施します。1回10人程度の少人数で開催し、事業者ごとにアドバイスを行います。

また、全7回のセミナーの後も、継続的なエコドライブ活動を行うため、「継続セミナー」を開催しています。



7年間の実績



グリーン・エコプロジェクトのメリット
環境対策/燃費コスト削減/交通事故低減
社内コミュニケーションの活性化

活動に対する各種表彰



国際会議を通じ世界に発信



『グリーン・エコプロジェクト』が東京都の世界初の評価制度に全面協力

東京都は、貨物運送事業者を評価する世界初の「貨物輸送評価制度」を平成25年度より実施（平成24年度試行）しました。

この新たな仕組みを構築するにあたり、『グリーン・エコプロジェクト』が全面協力し、制度設計に必要な指標の基礎となる燃費データを提供。これにより、トラックの実走行燃費のベンチマークを設定・評価する世界初の指標を開発し、3段階の評価で格付・公表できるようになりました。

また、運送事業者のCO₂削減に関する継続的な努力を評価する指標となり、この評価を受けた運送事業者が東京都が公表し、評価結果をアピール。荷主や消費者等に評価を受けた運送事業者の利用を推奨して、さらなるCO₂削減への貢献を高めるものです。



貨物輸送評価制度ステッカー